

令和6年(2024年)8月1日発行

# 学園創立記念日 教職員祝賀会

## 学園関係者が一堂に集い、祝賀会で交流



会場となったアリーナには関係者約250名が集まった

学園創立117周年を記念する教職員祝賀会が6月29日、駒場キャンパスのアリーナにおいて開催された。法人役員・職員、大学・中高の教職員のほか、後援会や同窓会など外郭団体関係者を含め約250名が参加した。

昨年までは学園協議会と称して学内外の講師による講演会が催されていた。今年は祝賀会として学園関係者が一堂に集い、お互いに親睦を深め、創立記念日を祝った。



柳澤理事長 竹内学長 大塚校長

### 創立記念日の由来と祝賀会の意義

祝賀会の冒頭、柳澤章理事長が学園創立記念日制定の経緯について説明を行った。学園の始原となる東京工科大学は1907年に設置認可を受け、翌年に開校。そして1931年、実業学校令に基づき、財団法人東京工科大学ならびに東京工業学校の設立を申請し、同年6月29日に認可された。この日が学園の創立記念日として定められた。

### 大学の近況報告と今後の方針

続いて、大学の竹内貞雄学長が登壇。少子化、アフターコロナ、駒場高等学校の普通科専一化という状況変化の中、大学として解決すべき問題、これに対応するための施策について展望を述べた。

そして祝賀会開催にあたり「一人ひとりの絆をもって学園を運営していくことが大変重要だ。この機会に互いに交流を深め、学園の一員として一致団結し、今後の運営にあたってほしい」と語った。



参加者全員で学園賛歌を合唱

まず、本年度の新入生対象学力診断テストの分析結果を解説したうえで「一般入試で学力の高い学生を獲得するとともに、推薦入試においても優秀な学生を送ってもらうための施策に切り替えていきたい」との方針を示した。

た。そして、獲得した学生を支援していくための施策について紹介した。学習意欲の向上と持続をめざす「学科探求セミナー」の開講。工学と農業の融合により従来にはない研究成果が期待できるスマート農業センターの新設。今年NHKロボコンテスト本戦に出場した口

ポット製作プロジェクト(4面に関連記事)をはじめとする「カレッジマインスタープログラム」のさらなる支援。福島県楢原町における学生の活動を支援する社会連携科目の推進。こうした取り組みの成果により「卒業生たちが、就職した企業の中で高く評価されている」と強調した。

### 中学・高校の近況報告と今後の方針

駒場中学・高等学校の大塚勝之校長は「昨年4月から普通科専一校として新たに始動したが、開校以来培われてきたものづくり教育を活かし、今後も生徒に引き合う姿勢を守っていききたい」と述べ、「長年の悲願であった中高一貫コースの幹を一層太くしていきたい」とも語った。

### 2024年度省エネ・節エネ設備等導入状況と実績

## サステイナブルキャンパスの充実に向けた活動を推進

昨年度の省エネ実績は、温対法における埼玉県地球温暖化対策推進条例のCO2排出量削減目標(基準値7450t-CO2/年)の22%削減)に対し38.7%削減(昨年比で▲6.8%)。また、省エネ法の原油換算エネルギー削減目標値(ベンチマーク指標で0.55以下)に対しても0.493となりこれも達成した。また、電力供給会社に対しイン

センター型型ディマン・リスボンズで6回(1952kWh)の協力をした。一方、東京電力管内における電力需給の予備率は概ね確保できる見通しではあるものの、今年度も厳しい状況であることは変わらない。今年度も省エネ活動への協力を求められている。引き続き資源・エネルギー使用管理部が中心となり次の省エネ・節エネ活動に取り組むこととした。

### 今年度の主な省エネ・節エネ活動

①省エネポスターによる啓発活動②空調の中間期完全停止③外気温温度による熱源運転制御④クーリングの効率的な運用を両立できる最適運用を図っていく。また、PPA(電力販売契約)電力の導入についても今年度内着手を目指し計画している。加えて我が国の温室効果ガス排出量目標2030年(2013年度比46%減)・2050年(実質ゼロ)脱炭素化計画に沿った本学の削減を達成すべく、部会では省エネ改善として全建物を対象に以前から推進している照明器具のLED化に加え、経年劣化が進んでいる空調熱源機(吸収式冷凍機)やG

HPC(ガスヒートポンプ)空調機の更新による高効率化を計画している。運用面についても、昨年度同様に中央監視装置を駆使した、運転の効率化と快適性を両立できる最適運用を図っていく。また、PPA(電力販売契約)電力の導入についても今年度内着手を目指し計画している。加えて我が国の温室効果ガス排出量目標2030年(2013年度比46%減)・2050年(実質ゼロ)脱炭素化計画に沿った本学の削減を達成すべく、部会では省エネ改善として全建物を対象に以前から推進している照明器具のLED化に加え、経年劣化が進んでいる空調熱源機(吸収式冷凍機)やG

## EMS全員大会

# SDGs目標達成に向けた活動を報告 今年度の環境方針、目標を全学で共有

5月16日、全教職員を対象とする「EMS(環境マネジメントシステム)全員大会」が開催された。年度のスタートにあたり、本学が取り組んでいる環境活動について、全学構成員が教育機関として掲げる環境方針や目標などを共有するとともに、外部の関連研究や技術などの知見を深める場となっている。今年度も昨年度に引き続き、本学のEMS活動の意義や目的を再確認することに加え、メインイベントとして学生が「SDGs活動補助金」を活用したSDGsに関する研究成果を発表した。大会の次第は次の通り。

### 一. サステイナブルポード

001年のISO14001認証取得から、2018年6月のNIT-EMS自己宣言へのステップアップを経て、今日に至るまでの全学環境活動について説明。法人を中心とした「サステイナブルポード」による外部監査の意義を強調し、本学EMS・SDGs活動の更なる推進による教育的・社会的な重要性を改めて

### 二. 活動報告

両宮NIT-EMS本部長が昨年度の成果と今年度の活動の要点を説明。続いて、学生環境推進委員会の赤澤颯さん、原涼馬さん、ワニガスンさん、松井優羽さんは、学生環境活動・SDGs目標達成に向けた様々な活動の現状と成果を紹介した。



学生環境推進委員会による活動報告

### 三. 2023年度SDGs活動補助金を活用した研究成果発表

7件の研究成果について、担当した学生が発表し、SDGs目標と結びつけた研究に教員の支

て、精神的に活性化していること評価し、広報活動を積極的に進めることで企業や他団体と協働してSDGs目標を達成する活動の機会を増やしてほしいと締めくくった。



省エネポスター

省エネポスターによる啓発活動②空調の中間期完全停止③外気温温度による熱源運転制御④クーリングの効率的な運用を両立できる最適運用を図っていく。また、PPA(電力販売契約)電力の導入についても今年度内着手を目指し計画している。加えて我が国の温室効果ガス排出量目標2030年(2013年度比46%減)・2050年(実質ゼロ)脱炭素化計画に沿った本学の削減を達成すべく、部会では省エネ改善として全建物を対象に以前から推進している照明器具のLED化に加え、経年劣化が進んでいる空調熱源機(吸収式冷凍機)やG

省エネポスターによる啓発活動②空調の中間期完全停止③外気温温度による熱源運転制御④クーリングの効率的な運用を両立できる最適運用を図っていく。また、PPA(電力販売契約)電力の導入についても今年度内着手を目指し計画している。加えて我が国の温室効果ガス排出量目標2030年(2013年度比46%減)・2050年(実質ゼロ)脱炭素化計画に沿った本学の削減を達成すべく、部会では省エネ改善として全建物を対象に以前から推進している照明器具のLED化に加え、経年劣化が進んでいる空調熱源機(吸収式冷凍機)やG

**NIT Open Campus**  
夢中がみつかると、オープンキャンパス  
8/24(土)  
大学・学科紹介、研究室紹介、進学相談、女子向けイベントほか

# 2025年度入試に向けた 受験生、高校教諭対象イベント

### 高校教諭を対象とした 入試説明会

5月24日と6月2日、高等学校教諭を対象とした入試説明会を埼玉キャンパスにおいて開催した。近隣の高等学校を中心に、北は北海道から南



今回のオープンキャンパスは学生主体で運営

は沖縄県まで、86校の教諭が参加した。開会前には希望者に対し、本学の魅力ある実験・研究設備をめぐるキャンパスツアーを実施。説明会では冒頭、竹内学長が挨拶に立ち、大学の近況を報告。続いて、学生有志の「のつくりチーム」(NGEプロシエクト)に所属するロボティクス学科の学生3名が登壇し、高校時代の経験、本学における学修や学

生生活に関する体験談を発表。最後に受験生や高校生に向けてメッセージを送った。休憩をはさみ、2025年度入試について説明を行った。閉会後は希望者を対象に、5号館2階ラウンジセンターにおいて、学科および学群教員や入試課員との個別相談を行った。多くの教諭が参加し、入試説明会を終えた。



特別講演会は多くの学生、高校生で満席に

工学の総合大学として様々な工学分野を学修できるという本学の特長を活かし、全ての学科・コースで体験的プログラムを用意。高校生の進路選択の参考となるイベントを実施した。

さらに昨年度から学生OCチームを発足した。学生が主体的にイベント運営を行い、研究紹介、キャンパスツアー、茶話会、女子ランチ会など、多くのイベントを通じて参加者との交流を図った。

OCチームを発足した。学生が主体的にイベント運営を行い、研究紹介、キャンパスツアー、茶話会、女子ランチ会など、多くのイベントを通じて参加者との交流を図った。

## 留学生センター新設

本学に在籍する留学生の学修活動を支援し、学生生活の充実と向上を図ることを目的として本年4月、留学生センターを新たに設置。センター長に情報メディア工学科の眞本亮教授が就任した。具体的な業務として、は、教学・学生生活支援、留学生交流イベントの企画・運営、留学生の在留資格申請業務、奨学金関連業務、就職支援などと連携した就職支援などを実施している。

日本工業大学大学院 一般入学試験・社会人特別選抜				
◆大学院工学研究科(博士前期課程・博士後期課程)				
■2025年度 入試日程				
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	2024年9月21日～9月27日	10月 3日	10月11日	2025年1月28日
二次募集	2025年2月 3日～2月 7日	2月13日	2月28日	3月 6日

お問合せ先：教務部教務課 大学院入試係  
TEL 0480-33-7507 E-mail : kyomu@nit.ac.jp

## 地域別教育懇談会

日本工業大学後援会が主催する「地域別教育懇談会」では、お子様の成績、学生生活、就職などについて、保護者の皆様が大学教員に個別にご相談いただけます。

- 茨城県支部・群馬県支部  
9月21日(土)／支部会場
- 北陸支部(富山・石川・福井)  
9月22日(日)／支部会場
- 近県(埼玉・東京・神奈川)  
9月29日(日)／大学会場
- 茨城・群馬・北陸・近県以外の全ての地域  
10月20日(日)／大学会場

詳細はご自宅に届く案内状をご覧ください。

### 専門職大学院だより

## 生成AIがもたらす我々の危機

大学院技術経営研究科 教授 石井宏宗

宇露戦争とガザ紛争の悪化と膠着、中国による南シナ海と東シナ海におけるシーレーン拡大の挑戦、いま、世界は大きな節目を迎えています。

他方、このように人類が退化のごとくスタックしている間、生成AIは極めて急激な進化を日々遂げています。

孫正義氏曰く、GP T-4は2023年に医学試験と司法試験に合格し、あと5年でAGI

(汎用人工知能)、10年でASI(人工超知能)が来ると述べています。要するに、いまの常識は5年後にはほぼ無くなるという予期です。ジェレミー・ハイマンズとヘンリー・ティムズが「オートサピエンス」と呼ぶ生成AIは、すでに人類というホモサピエンスのカウンターパートの存在である事を、我々は早期に認めるべきでしょう。しかしながら、生成A

Iは生成過程がブラックボックスであり、この懸念点を払しょくする事は容易ではありません。たとえば、研究分野においても、分析、分類、検証、などの過程をエビデンスとして明確にできない生成AIの使用は忌避されます。ただし、生成AIの進歩が不可逆的である事は間違いありません。そこであれば、いまこそ、生成AIについて

を識るべき時と考えます。数ある生成AIの書物から三宅陽一郎氏の「人工知能」と(人工知能) (2024)を紹介したいと思えます。三宅氏は、AIの技術的進展を哲学的考察から、AIという人工知能が「人工知性」に昇華する可能性を論じています。ここでいう人工知性は、言語学、現象学、記号地主義、記号論、構造主義、西洋哲学と東洋哲学の融合などを通じて実現される存在として描かれています。特筆すべきは、記号論では構造主義のシニール、観念と唯物物ではメルリポンティなどが

人工知性の基盤とされている点です。換言すれば、古典を含む幅広い叡智を持たない人間は、人工知性に対等につき合えない事を示唆しています。したがって、もし人工知性が君臨すれば、生成AIを使いこなす側と使われる側、カースト制

度のような強烈なハイライキー、超絶な格差社会が到来する事になります。小松左京「虚無回廊」の「人工実存」を彷彿とされる世界観です。生成AIの本当の「危機」はここにあるのかも知れません。

### 専門職大学院 オープンキャンパス

■パネルディスカッション ■説明会  
■模擬授業 等の実施を予定しています

2024

8/31(土) 10/19(土)

2025

12/7(土) 1/25(土)

※社会情勢により、日程変更の可能性があります  
※最新情報はWEBサイトで <https://mot.nit.ac.jp/>

お問い合わせ先  
日本工業大学 専門職大学院  
TEL.03-3511-7591 Mail: mot@kanda.nit.ac.jp

## 2025年度入試概要

- ◆=出願期間 ●=選考方法
- 特別選抜(単願)** 単願 奨学金  
特別奨学生として1年目の学費から100万円または50万円を免除。特待生には2年目以降も学費免除等の特典。  
◆ 9/12(WEB受付 9/5)～10/4 ● 書類審査、面接
- 特別選抜(併願)** 併願可 奨学金  
成績優秀者に入試奨学金(20万円)を給付。国公立大学等との併願受験に最適。  
◆ 9/12(WEB受付 9/5)～10/4 ● 書類審査、面接
- 特別選抜(教員志望)** 単願 奨学金  
高等学校または中学校の教員を目指す方が対象。1年目の学費から100万円または50万円を免除。特待生には2年目以降も学費免除等の特典。  
◆ 9/12(WEB受付 9/5)～10/4 ● 書類審査、面接
- 総合型選抜(課題実践型)** 併願可 奨学金  
課題への取り組みを通じて学科に対する適性、工学を学ぶための基礎的知識などを総合的に評価。  
◆ 9/12(WEB受付 9/5)～10/4 ● 書類審査、課題、プレゼンテーション、面接
- 総合型選抜(体験講義型)** 奨学金  
工学を学ぶための基礎力や理解力を測ることを目的として、体験講義を利用した試験と面接で評価。  
◆【第1期】9/12(WEB受付 9/5)～10/4  
【第2期】12/2(WEB受付 11/22)～12/11 ● 書類審査、体験講義、面接
- 総合型選抜(基礎学力型)** 併願可 奨学金  
工学を学ぶための基礎学力を重視して評価。  
◆ 11/1(WEB受付 10/25)～11/11 ● 書類審査、筆記試験、面接
- 総合型選抜(活動アピール型)** 併願可 奨学金  
高校生活や部活動、または私生活等で主体的に活動してきた経験をアピールしたい方が対象。  
◆【第1期】9/12(WEB受付 9/5)～10/4  
【第2期】1/7(WEB受付 12/16)～1/20 ● 書類審査、面接
- 学校推薦型選抜(指定校)** 単願 奨学金  
指定校にもつぎ、高等学校長の推薦を受けて出願する入試。入学後のプレースメントテスト成績優秀者には指定校奨学金を給付。  
◆ 11/1(WEB受付 10/25)～11/11 ● 書類審査、面接
- 学校推薦型選抜(公募制)** 併願可 奨学金  
高等学校長の推薦を受けて出願する入試。高等学校での頑張りともつくりへの意欲で評価。  
◆【第1期】11/1(WEB受付 10/25)～11/11  
【第2期】12/2(WEB受付 11/22)～12/11 ● 書類審査、面接
- 一般選抜** 併願可 奨学金  
試験教科は数学、英語の2科目と国語・物理・化学から1科目選択。試験会場は本学、地方合わせて8カ所。  
◆【A】1/7(WEB受付 12/16)～1/21  
【B】2/3(WEB受付 1/27)～2/13 ● 書類審査、筆記試験
- 一般選抜英語外部試験利用** 併願可 奨学金  
本学の英語の試験を免除。数学と国語・物理・化学から1科目選択。試験問題は一般選抜Bと同一。  
◆ 2/3(WEB受付 1/27)～2/13 ● 書類審査、筆記試験
- 3月入試** 併願可  
目的意識が明確、学習意欲が旺盛で、大学の学修に十分対応できる方が対象。  
◆ 2/17(WEB受付 2/10)～3/3 ● 書類審査、小論文、面接
- 共通テスト利用** 併願可 奨学金  
大学入学共通テストの成績、調査書により選考。遠方の方でも受験しやすく、一般選抜との併願も可能。  
◆【A】1/7(WEB受付 12/16)～2/5  
【B】2/3(WEB受付 1/27)～2/13  
【C】2/17(WEB受付 2/10)～3/5



入試の詳細は  
募集要項を  
ご覧ください

工業技術博物館 後援会総会・特別講演会

特別講演 NCCフライス盤の誕生からMCの実用化まで

工業技術博物館後援会の2024年度総会、特別講演会が5月31日、LCCセンターマルチメディア教室において開催された。

引き続き、今年度の後援会名譽会員の授与式が挙行され、花木会長より大石和太郎氏に称号記が授与された。大石氏は(元)国鉄で新幹線の運転士を務めた後、本学付



講師の佐藤真氏

特別講演では、牧野フライス製作所元代表取締役専務の佐藤真

精密工学会主催研究会 テーマは「和鐵と日本刀」

5月23日、LCCセンターにおいて精密工学会生産原論専門委員会主催の研究会「和鐵と日本刀」が開催された。



来場者の質問に答える刀匠・大野氏

「古代・近世における日本の製鉄と鍛造から学ぶ」がテーマに、機械工学科の神雅彦教授が全

国際交流

中国・衢州の各種学校を訪問 教育関係者と意見交換

氏より「NCCフライス盤の誕生からMCの実用化まで」と題して、牧野におけるNCC(数値制御)フライス盤とMC(マシンニングセンター)の開発の歴史について講演が行われた。

5月29日から6月2日にかけて、竹内貞雄学長、共通教育学部群の劉雲准教授、留学生入試課・留学生センターの川島信也課長が、本学と学生募集活動を協働する衢州中等専門学校(中国浙江省)を訪問した。



衢州中等専門学校の訪問

意と本学一行を歓迎するメッセージが送られた。同日夜には昨夏に本学を訪問した衢州市教育局副局長・姚文湧氏主催の歓迎会へ招待され、現地の関係者との懇談の機会を得た。

もとに衢州中等専門学校と同じく日本語学習に重点を置くカリキュラムを編成していることから、本学との更なる交流を進めることで合意した。

第79回教育改革シンポジウム

個人情報保護と漏洩防止

今回のシンポジウムは、本学で発生した情報セキュリティインシデントを踏まえ、個人情報保護と漏洩防止について再度認識を深めることをテーマとした。冒頭、学園情報システム部の石井



講師の小野氏

一浩CISOが、今回の趣旨説明と情報セキュリティの近年の傾向について説明。本学の情報セキュリティポリシーなどのルールを意識すること、情報セキュリティ啓蒙活動への協力を呼びかけた。

次に埼玉県警察本部サイバー局サイバー対策課の小野稔晃警部補が、近年増加するランサムウェアやサポート詐欺、SNSの炎上被害について組織に与える影響を詳しく説明し、注意を促した。具体的な防御・予防策も紹介され、日常生活や業務における対策について参加者からも多くの質問があり、活発な議論がなされた。

機械工学科学生安全委員会 学生の自主的な安全活動を推進

機械工学科では「学生安全委員会」を2016年に発足し、継続・展開している。学生の自主的な安全活動や安全に対する意識づくりを構築する上で大切な活動となっており。今年度は5回の「安全ミーティング」を計画し、これまでの活動内容の継続と新たに学内避難訓練初期消火活動への参加を計画している。

委嘱式が行われた。今後、学生安全委員は研究室の年間安全目標の研究室の年間安全目標の設定を第2回安全ミーティングで報告、発表する予定である。研究室ごとの安全活動報告、ヒヤリハット事例を共有することにより、学生たちの安全に対する感性が磨かれ、充実した研究活動が期待される。



委嘱された学生安全委員

コンテストの参加者を募集中!

NITプロダクトデザインコンテスト2024



参加登録 8/21 表彰式 10/27 高校生対象のデザイン提案コンテスト。オリジナルアイデア、自由、3Dモデリング、3Dプリンタ造形の4部門で、自由な発想に基づく魅力的なプロダクトの提案を期待しています。

作品送付先/お問い合わせ先

NITプロダクトデザインコンテスト事務局 E-mail:pdcontest@nit.ac.jp



第18回 マイクロロボコン高校生大会



申込締切 11/20 競技結果提出締切 1/10 約1インチサイズの小型ロボットによるライトレース競技です。初心者でも参加しやすいネームカード(名刺サイズ)部門も設置しています。今回はオンラインでの開催を予定しています。

エントリー/お問い合わせ先

先進工学部ロボティクス学科 TEL:0480-33-7716(学科事務局) 榎橋康博 E-mail:kusihasi@nit.ac.jp



第38回 建築設計競技



提出期限 8/31 入賞発表 9月中旬 建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計の腕試しの場、建築学科の教育活動の一環として開催。今回の課題は「肝っ玉母さんのような家、あるいは頑固親父のような家」。

作品送付先/お問い合わせ先

建築設計競技委員会 TEL:0480-33-7676(入試課) E-mail:kenchiku-compe@nit.ac.jp



ホームカミングデー 10月26日(土) 13:00

懇親会をダイニングホールで開催します 懐かしく、新しい埼玉キャンパスにご友、ご家族とお越しください!



### 福島県「大学生の力を活用した集落復興支援事業 (R6年度)」を受託



わらび工場でシール貼りの手伝い

今年度の実証事業は、昨年の調査事業に続き、只見町塩沢集落が抱える課題解決を具現化する取り組みを行う。6/15-16日に学生8名が現地を訪問。「空き家活用」「観光促進」「SNS活用」の3テーマに分かれ地域住民とのワークショップを実施し、交流を深めるとともに実証事業の方向性を確認した。次の活動は9月の予定。



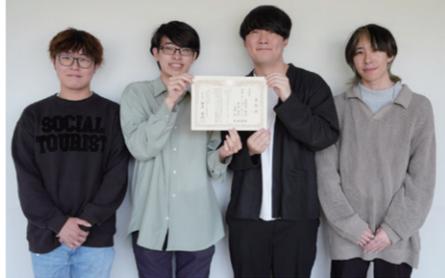
表彰状を持つ山崎部長(後列中央)と無線部員

無線部はこうした全国規模の無線コンテストに積極的に参加するだけでなく、同連盟埼玉支部が運営するイベントにも協力し、感謝状が授与されるほどの実績を残している。本年、活動拠点となる専用の無線室が増設され、活動の幅を益々広げていこうと。

### アマチュア無線コンテスト 無線部が全国1位

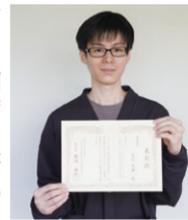
文化団体連合会に所属する無線部が4月24日、日本アマチュア無線連盟が主催する2023年度全日本アマチュア無線コンテストの電信局数と送信地域数で総得点を計算する種目があり、国内のみならず世界中で開催されている。無線部はこうした全国規模の無線コンテストに積極的に参加するだけでなく、同連盟埼玉支部が運営するイベントにも協力し、感謝状が授与されるほどの実績を残している。本年、活動拠点となる専用の無線室が増設され、活動の幅を益々広げていこうと。

### 電気学会U-21 学生研究発表会各賞受賞



(左から)乙部さん、河野さん、金剛寺さん、井出さん

3月9日に開催された電気学会U-21学生研究発表会において、情報メディア工学科、データサイエンス学科の学生が各賞を受賞した。データサイエンス学科1年(受賞時)の金剛寺颯大さん、河野タニエル(左から)乙部さん、河野さん、金剛寺さん、井出さん「情報端末を活用した教材が欲しい」という依頼に応えるため、食育に関する知識をゲーム感覚で楽しく学べるアプリを開発。学校での授業においてアプリの効果を実証した。小中学生に対する食育への理解促進、栄養担当教諭の負担軽減に貢献すると期待されている。



宮川さん



川崎さん

情報メディア工学科3年(受賞時)の宮川大輝さんは「シリアスゲーム『データモンスターズ』の開発とデータ分析力向上効果の評価」の研究で探究賞を受賞。中高校生がデータサイエンスを楽しく学べるゲームを開発した。ゲームを通じて、プレイヤーがデータサイエンスにどれほど関心があるか、データ分析力がどれくらい向上したかについて評価実験、検証を行った。



国宝に指定されている鎌倉大仏を訪問

### 留学生がバスツアーで交流 鎌倉、箱根などを観光

留学生対象の研修バスツアーが6月1日から1泊2日の日程で実施され、29名(中国26名、マレーシア2名、ネパール1名)が参加した。本ツアーは留学生に対する国内の世界文化遺産への興味喚起、留学生同士および教職員との交流を目的として毎年実施されている。今年は呉本留学生センター長、齊藤学生支援課長引率のもと鎌倉、箱根など神奈川県南部エリアを巡った。

1日目は高徳院(国宝鎌倉大仏)、鶴岡八幡宮を見学後、大涌谷の火山活動を現地観察した後、本学工業技術博物館所蔵の箱根登山鉄道103号車とゆかりのある107号車を見学した。留学生たちはお互いに親睦を深めながら文化遺産、自然、日常マナーなどを楽しく学んだ。

### NITクリエイティブ定時株主総会

株式会社NITクリエイティブの第57回定時株主総会が5月25日に開催された。席上、まず原隆之社長より、当期の事業経過と決算内容に関する報告があり、質疑応答を経て満場一致で承認された。その後、任期満了に伴い取締役5名が重任(原隆之社長は退任)され、新社長には林勇司氏が選任された。

### 国外出張

◆杉森順子教授(情報メディア工学科) / 出張先 中国(5/25-5/27) / 目的 上海現代アート展の最新事例調査研究  
◆竹内貞雄教授(学長) / 出張先 中国(5/29-6/2) / 目的 衢州中等专业学校訪問のため  
◆劉雯准教授(共通教育)

◆川島信也(留学生入試課・留学生センター) / 出張先 中国(5/25-5/27) / 目的 国際会議IoT-AIに関する研究発表  
◆加藤利康准教授(情報メディア工学科) / 出張先 ポルトガル(6/30-7/6) / 目的 国際会議IoT-AIに関する研究発表  
◆吉野一教授(建築学科) / 出張先 アメリカ(7/5-7/11) / 目的 2024年7月7日

◆関根裕子講師(共通教育学群) / 出張先 アメリカ(8/16-8/25) / 目的 米国議会図書館での資料収集(科研費若手研究Bに関する資料収集)  
◆齋藤早紀子講師(共通教育学群) / 出張先 韓国(8/25-8/28) / 目的 IIEA(The International Association of International Human Engineering)

### 学園の未来を切り拓く 未来募金

4つの事業で寄付金を活用しています。ご協力をお願いいたします。  
■奨学金の制度・拡充  
■施設・設備の拡充  
■教育・研究の推進  
■その他各事業の推進

### 後援会定期総会

今年5月19日、本学学生会館にて開催された。委任状を含め140名が出席。議案(事業報告、決算報告、事業計画、予算案、理事・監事選出)は慎重審議の上、全て承認された。新執行部は左記の通り。

- 会長 佐伯直樹(富山)
- 副会長 香坂一太(東京)
- 清水重喜(山梨)
- 矢野信幸(岐阜)
- 亀山啓輔(茨城)
- 篠葉幸一(埼玉)
- 和田弘之(千葉)
- 宮崎泰弘(長野)
- 棚井めぐみ(山形)
- 山中 猛(福島)

### 工友会定時総会

6月8日に一般社団法人日本工業大学工友会定時総会が埼玉キャンパスの学生会館で開催された。本学から柳澤理事、竹内学長の2名、工友会本部関係者22名、代議員36名が出席した。議案は次のとおり。

◆吉田要准教授(共通教育学群) / 出張先 アメリカ(7/24-7/30) / 目的 国際会議「第9回アジア鉄鋼国際会議(9th Asia Steel International Conference, Asia Steel 2024)」での発表と情報収集  
◆河任有希子准教授(共通教育学群) / 出張先 アメリカ(8/1-8/8) / 目的 日本語教育国際研究大会(ICJLE)参加のため  
◆関根裕子講師(共通教育学群) / 出張先 アメリカ(8/16-8/25) / 目的 米国議会図書館での資料収集(科研費若手研究Bに関する資料収集)

◆平栗健史教授(電気電子通信工学科) / 出張先 台湾(7/8-7/12) / 目的 国際会議「第9回アジア鉄鋼国際会議(9th Asia Steel International Conference, Asia Steel 2024)」への参加  
◆古閑伸裕教授(機械工学科) / 出張先 タイ(9/1-9/7) / 目的 国際会議「第9回アジア鉄鋼国際会議(9th Asia Steel International Conference, Asia Steel 2024)」への参加

◆内田祐一教授(応用化学科) / 出張先 中国(9/2-9/8) / 目的 国際会議「第9回アジア鉄鋼国際会議(9th Asia Steel International Conference, Asia Steel 2024)」への参加

### NHK学生ロボコン2024

#### 悲願の本戦出場 奨励賞受賞

カレッジマイスタープログラム「ロボット製作プロジェクト」のチームが6月9日、NHK学生ロボコン2024の本戦に出場した。経験者がいない中、会場の通信環境に起因する不具合など想定外のトラブルが頻発して実力を発揮できず予選敗退となったが、全国の強豪校の中から本戦出場18チームに選ばれ、奨励賞を授与されたことは快挙である。今回の貴重な経験を活かして来年も本戦出場、さらには決勝トーナメント進出を目指してほしい。



手動・自動各1台のロボットで競った 競技に出場したメンバー

宮代町民まつり」が開催されます。昼は子ども向けのイベント、夜は進修大鼓の演奏に加え、流し踊り、みこし・山車の巡行が

から開催されるIndoor Air 2024における研究発表及び情報収集  
◆平栗健史教授(電気電子通信工学科) / 出張先 台湾(7/8-7/12) / 目的 国際会議「第9回アジア鉄鋼国際会議(9th Asia Steel International Conference, Asia Steel 2024)」への参加  
◆古閑伸裕教授(機械工学科) / 出張先 タイ(9/1-9/7) / 目的 国際会議「第9回アジア鉄鋼国際会議(9th Asia Steel International Conference, Asia Steel 2024)」への参加

行われます。宮代の熱いまつりをぜひ体感してください!  
日時 8月24日、25日 10時~21時  
会場 進修館周辺  
問合せ 町民生活課地域振興担当 0480-341111  
当日は進修館0480-3333846